

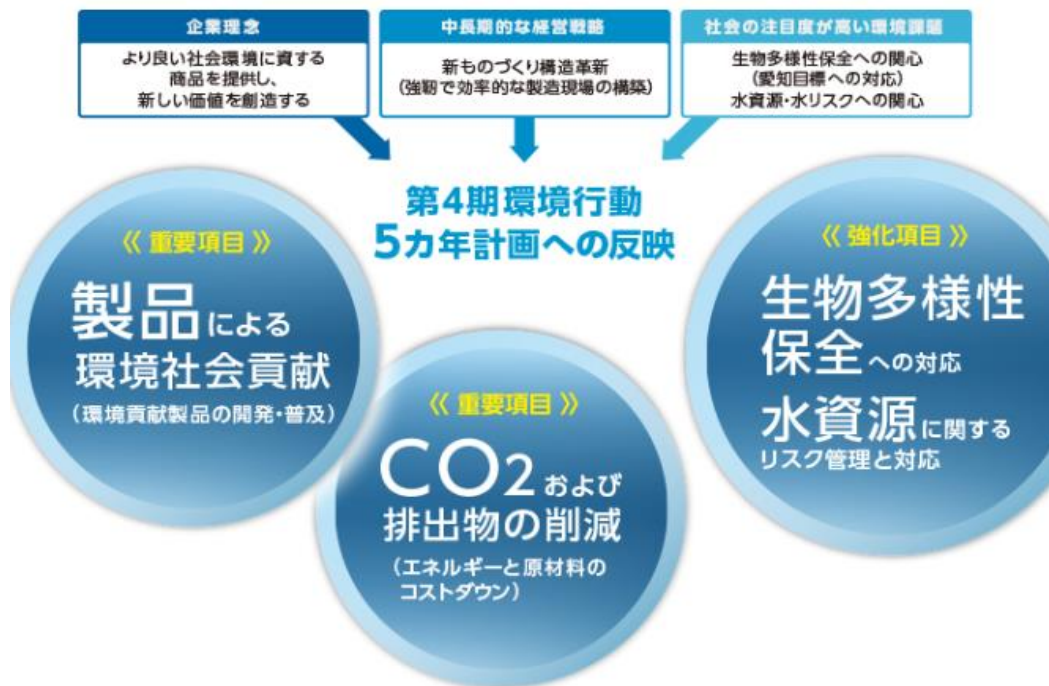
トピックス

「第4期環境行動5カ年計画」をスタート
日本ガイシ株式会社

日本ガイシグループでは、2001年度から環境行動5カ年計画を策定し、それに基づく取り組みを行ってきました、2015年度で第3期の計画が終了し、2016年度からは新たに第4期の計画を開始します。

2016年度から取り組む第4期環境行動5カ年計画では、まず社会が企業に要求する環境への取り組みを網羅することを前提としました。日経環境経営度調査やGRI(Global Reporting Initiative)ガイドライン、DJSI(Dow Jones Sustainability Index)なども参考に必要な取り組みを網羅し、計画に盛り込んでいます。その上で、日本ガイシグループの企業理念や中長期的な経営戦略、社会のニーズを鑑み、重要項目と強化項目を設定しました。

日本ガイシグループのあらゆる活動の原点は、企業理念にあります。企業理念の実現に直結する「製品による環境社会貢献」は、重点項目の第一に設定しました。さらに、競争力強化に向けた中長期的な活動である「新・ものづくり構造革新」と関連性が強い「CO₂と排出物の削減」も、重点項目としました。また、社会的要請が高まっている「生物多様性保全」や「水資源に関するリスク管理と対応」は、強化項目として注力していきます。



第4期環境行動5カ年計画

区分		項目	管理項目	2020年度目標
環境社会貢献	 製品による環境社会貢献	環境貢献製品の開発・普及	売上高伸び率	(連結)2013年度比60%以上
		グリーン調達推進	計画進捗率	国内のレベル維持・海外の取り組み拡大
	 環境コミュニケーションの推進	地域社会への貢献	計画進捗率	地域と連携した活動の継続・充実
		環境意識の向上		環境教育、情報開示の継続・充実
	 生物多様性保全への対応	生物多様性保全ガイドラインに基づく活動の推進	計画進捗率	愛知目標に対応し、取り組み内容を拡充
環境負荷低減	 地球温暖化防止	生産活動に伴うCO ₂ 削減	売上高原単位	(連結)2013年度比20%削減
			対BAU削減率※	(連結)2013年度比15%
		サプライチェーンでのCO ₂ 削減	輸送量原単位	(単独)中長期で平均1%/年削減
	 資源の有効利用	生産活動に伴う排出物削減	売上高原単位	(連結)2013年度比30%削減
			対BAU削減率※	(連結)2013年度比20%
		資源循環の推進	再資源化率	国内は99%以上を維持
水資源に関するリスク管理と対応		計画進捗率	拠点別リスク評価と水利用の効率化への取り組み強化	

※対BAU削減率：削減しない場合の排出量に対する削減量の割合を示す（BAUはBusiness as Usualの略）。この指標は為替等の影響が小さいため、生産部門の改善努力を直接見ることができます。